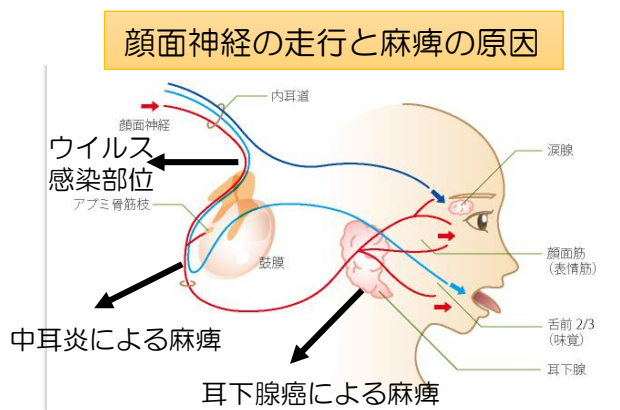


顔が動かない！口から水がこぼれる！目が閉じにくい！ そのような症状がでたらすぐに耳鼻咽喉科を受診しましょう！

上記のような状態を**顔面神経麻痺**といいます。
顔面神経は左右1本ずつあり、それぞれ左顔半分、右顔半分の動きを支配しています。



図：日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会ホームページより

顔面神経麻痺の原因

- ・脳梗塞・脳出血
- ・ヘルペスウイルス感染：ベル麻痺
- ・带状疱疹ウイルス感染：ハント症候群
- ・重症の中耳炎
- ・耳下腺がん、顔面神経鞘腫などの腫瘍
- ・頭部外傷
- ・その他

担当診療科

脳の病気が原因（中枢性）：脳神経内科
それ以外が原因（末梢性）：耳鼻咽喉科

なぜ耳鼻咽喉科を受診すべきなの？

・ベル麻痺やハント症候群だけじゃない？末梢性顔面神経麻痺の原因

脳梗塞や脳出血でない場合、ベル麻痺やハント症候群と診断されることが多いですが、まれに耳下腺がんなどの重篤な疾患が見逃されることがあります。耳鼻咽喉科は耳下腺癌の診断や手術、また中耳炎の診断・治療も行っていますので、**原因をきちんと特定してから治療**します。

・完全に治らない人、後遺症が出る人も少なくない！

ウイルス性麻痺の場合、大半の方はステロイド治療で改善しますが、不完全治癒に終わる方、後遺症が出る方は少なくありません。**耳鼻咽喉科では電気生理学的検査を行い、ほぼ正確に麻痺の重症度を診断できます。**その結果からどのくらいの期間で改善するか、麻痺が残りそうか、後遺症がでそうか、という**予後予測**を行い、それに基づいてその後の治療計画をたてています。

・手術した方がよい場合もある！

最重症例と診断された場合には**顔面神経減荷術**という手術を行った方がよい場合がありますが、この手術も耳鼻咽喉科で行う手術です。

・リハビリテーションがとても大切！

重症の顔面神経麻痺の方は、早期からの適切なリハビリテーションがとても重要で、最終的な顔面の左右対称性に大きく影響します。間違ったリハビリを行うと、左右対称性が大きく崩れることがあります。耳鼻咽喉科では**発症早期から適切なリハビリの指導**を行い、後遺症が出現された方には、長期の外来リハビリを続けています。慢性期にはボトックス注射を用いたリハビリを行います。これは熊本県内では当院のみで行われています。

顔面神経麻痺は発症早期の治療が非常に重要で、1日でも早く治療を始めた方がよいとされています。
発症したらすぐに耳鼻咽喉科を受診してください！

